



ST. VIATOR RAKUSEI
JUNIOR AND SENIOR HIGH SCHOOL

33 KOMATSUBARA-MINAMIMACHI
KITA-KU, KYOTO 603-8342, JAPAN

意志表明書

ヴィアトール学園は、人権、労働基準、環境、腐敗防止に関するグローバル・コンパクトの10の原則を支持することを確認いたします。

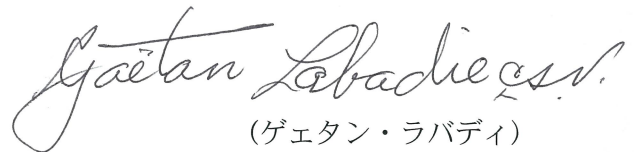
私どもは、本学園の影響力の及ぶ範囲内でできる限り、グローバル・コンパクトの10原則を促進していく所存でございます。本学園のグローバル・コンパクトおよびその10原則を本学園の戦略、文化および日々の業務の一部にしていくことと持続可能な世界の実現に向けて国連が取り組むさまざまな事柄にも関わることを約束いたします。また、このような私どものグローバル・コンパクトに対するコミットメントをステークスホルダーおよび公に対して明言いたします。

なお、会員としての活動の中で得られた他社・団体に関する情報を第三者に漏洩しないことをお約束いたします。

2016年9月29日

学校法人 ヴィアトール学園

理事長


(ゲェタン・ラバディ)

本学園における国連グローバル・コンパクトに関する取組について

グローバル・コンパクトの10原則に係る取組について

1. 人権講演会の開催（原則1,2）

本学園は、洛星中学校・洛星高等学校における教育の方針として、将来社会のリーダーとして人類の文化に貢献できる「心」「頭」「体」のバランスがとれた人材の育成に努めています。特に「心」の教育を重視し、「人の痛みに気づくことのできる人になってほしい」ということを念頭に置いていることから、人権講演会の実施をはじめ様々な機会を通して人権問題についての意識の啓発・涵養に取り組んでいます。

2013年4月～2015年3月までの人権講演会の開催実績は次のとおりです。

〔人権講演会〕

2013年度

2013年5月10日 「地球最後の秘境から始まったフィールドワーク」

福林良典氏（NPO 法人 道普請人理事）

2013年6月13日 「視覚障害者の生活をとおして」松永信也氏

2013年7月 3日 「平和・核問題・原発」

安斉育郎氏（立命館平和ミュージアム名誉館長）

2014年度

2014年6月26日 「視覚障害者の生活をとおして」松永信也氏

2014年7月11日 「平和・核問題・原発」

安斉育郎氏（立命館平和ミュージアム名誉館長）

上記以外に生徒と乳幼児の触れあいを通して命の大切さを考える「赤ちゃん講座」を毎年実施しています。

2. 環境問題への取組（原則7,8,9）

本学園の講堂(体育館)のアリーナ照明設備を水銀灯からLEDに取り替えたことをはじめ、校内設備のLED化を進めています。実施してからまだ時間が経過していないことや旧来の設備が混在していることなどから実質的效果は測れていませんが、毎月の消費電力量等からその効果は実感できるものとなっています。

その他、卒業した生徒から提供された制服をバザーで販売し再利用に供することや、文化祭の模擬店で再利用可能な食器類を使用する等していくことで、これからも地球環境に配慮した取組を進めていきたいと考えています。

以上